



# 株式会社ミューパック・オザキ

## 第 2 回

## 2019 年度 環境経営レポート

【第37期】

(対象期間: 2019 年7月21日～ 2020 年7月20日)

37期 取組テーマ “挑戦・CHALLENGING”



作成日: 2020年8月31日

# 目 次

項 目	ページ
あいさつ	1
環境経営方針	1
組織の概要	2
事業・製品の紹介	2
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	3
主な環境負荷の実績	4
環境経営目標及びその実績	4
環境経営計画の取組結果とその評価	5～9
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	10
これまでの環境活動の紹介	10



2019.4 認証取得



**GOOD DESIGN AWARD  
2019年度受賞**

グッドデザイン賞2019受賞

## □ごあいさつ

### 【経営理念】

ミューパック・オザキの従業員一同は“真心をもってお客様に接し、お客様の喜びを私たちの喜びとし、信頼される企業として社会に貢献”致します。  
ミューパック・オザキの従業員一同は“自らの可能性に挑戦し未来へ向けて限りなく発展進化していくことによって、生きがいと夢の実現”を目指します。

## 環境経営方針

### <環境経営理念>

1980年の創業以来、弊社は真心をもってお客様に接し、お客様の喜びを私たちの喜びとし、信頼される企業として社会に貢献して参りました。  
本業である樹脂製袋の生産を通じて、自らの可能性に挑戦し未来へ向けて限りなく発展進化していくことによって生きがいと夢の実現を目指し、いち地球人として地球温暖化問題への関心を高め、地域の環境活動に自主的且つ積極的に取り組みます。  
安全で安心していただける商品を「効率よく」、「無駄なく」、「タイムリー」にお客様に提供することが当社の一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的に環境活動に取り組んでまいります。

### <環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制を遵守します。
2. 省エネルギー活動へ真剣に向合い二酸化炭素排出量の削減に従業員全員で取り組みます。
3. 廃棄ロスをなくす等廃棄物の発生抑制に努めます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 溶剤や接着剤などに含まれる化学物質を抑制し、適正管理と削減に努めます。
6. 環境保全に配慮した安心で安全な包装商品を効率よくお客様にお届けします。
7. 社会人としての自覚と責任を持ち必要とされる人間を育てる会社にします。
8. 製造業者としての社会的責任を持ち地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。



制定日：2018年9月13日

代表取締役社長 尾崎 育子

## □組織の概要

更新日：2018年9月13日

### (1) 名称及び代表者名

株式会社ミューパック・オザキ  
代表取締役社長 尾崎 育子

### (2) 所在地

本社・工場 大阪府八尾市南木の本5丁目2番地  
第2工場 大阪府八尾市南木の本1丁目89-2  
東京営業所 神奈川県川崎市幸区神明町2-2-302

### (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 伴ノ内工場長 TEL：072-991-1505  
事務局 竹村チーフマネージャー TEL：072-991-1505

### (4) 事業内容

樹脂フィルムの製袋に係わる企画・開発及び製造販売

### (5) 事業の規模

売上高 511 百万円

	本社・工場	第2工場	東京営業所	合計
従業員 名	23 名	14 名	1 名	38
延べ床面積 m <sup>2</sup>	529 m <sup>2</sup>	328 m <sup>2</sup>	33 m <sup>2</sup>	890

### (6) 事業年度 2019-2020年 7月 21日 ~ 7月 20日

## □認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社ミューパック・オザキ  
対象事業所：本社・工場  
第2工場  
東京営業所

対象外：なし

活動：樹脂フィルムの製袋に係わる企画・開発及び製造販売

## □事業や製品の紹介

### 【事業への取組姿勢】

1980年に起業、創業39年を迎えることができました。

弊社は樹脂フィルムの製袋機械13基を有し全国からのお取引先へ向け事業展開させて頂いております。樹脂パッケージの製袋に係わる全般を企画・開発する事で溶断製造・加工によるシールパッケージ・スライダーポーチ等お取引様、エンドユーザー様のご要望に応じた高品質で使い易い商品を製造し、尚且つ短納期での提供を心掛けて誠心誠意取り組んでおります。

### 【開発商品がグッドデザイン賞受賞の偉業達成】

2019年10月には弊社開発品であるセンタースライダーがあの有名なグッドデザイン賞を受賞する快挙を達成いたしました。審査員からも「新しい可能性が生まれてくることを期待させる」との高評価を頂きました。

### 【サービス・商品の紹介】

ミュースライダー、センタースライダー、エム袋等、40件以上の特許・意匠を取得しています。永年の経験を活かしお客様の“使い易さ”と“独自性”を追求しており他社様と一線を画した事業運営を目指しております。

### 【シンナーを使わない製袋工場の誕生。（環境経営への取組）】

接着剤希釈材として使用していたシンナー及び有機溶剤に含有するトルエン及び臭気を抑制・削減する為ゴム系の“ホットメルト接着剤の間欠塗布装置”を6台導入、シンナー臭が全くしない職場へ生まれ変わりました。製袋業界では驚嘆すべき出来事であり職場環境の改善のみならず、有害物質不使用によるパッケージの社会への提供を実行しております。

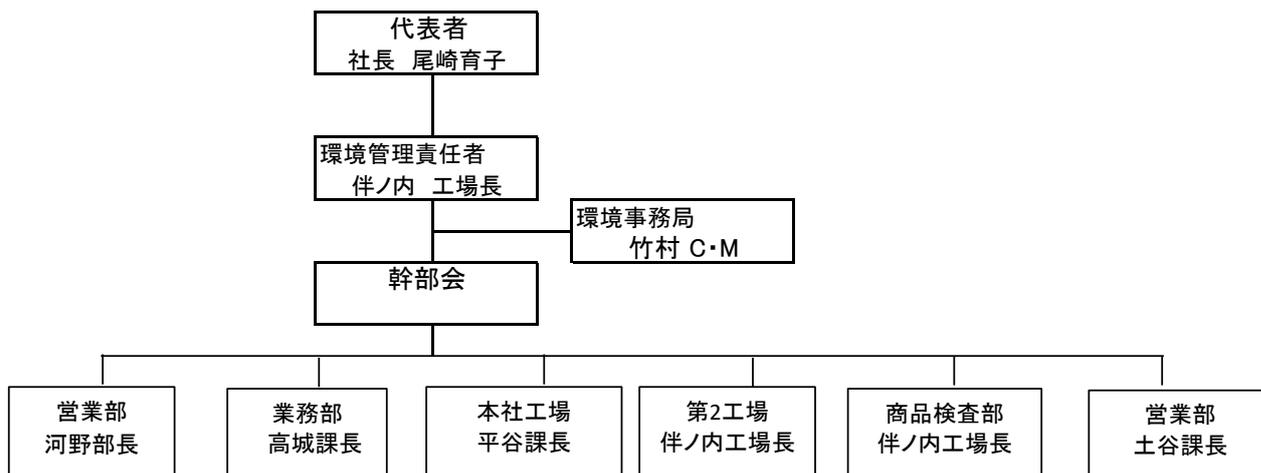
効果として化学物質の削減の他に働きがいのある安全・安心な職場環境づくりを実施しています。

G・D受賞商品：センタースライダーポーチ



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2018年9月13日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境経営方針の策定・見直し</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直し、指示</li> <li>環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐、幹部会の事務局</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>環境活動の実績集計</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
幹部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営計画の審議</li> <li>環境活動実績の確認・評価</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境経営方針の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

2019度/勤続20年の表彰式の風景(2019・11)



□主な環境負荷の実績

項目	単位	2017年	2018年	2019年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	158,394	156,237	138,084
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	178	168	161
産業廃棄物排出量	kg	75,950	62,306	82,950
総排水量	m <sup>3</sup>	631	505	431

※二酸化炭素排出係数 0.45 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 電力会社の調整後の係数

□環境経営目標及びその実績

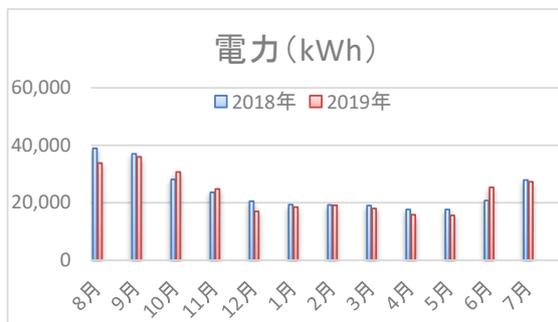
項目	年度	2018年			2019年		評価	2020年	2021年
		(基準値)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)			
電力による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	130,349	126,438	126,952	X	123,831	119,921		
	基準年度比		97%	97%		95%	92%		
売上原単位	kg-CO <sub>2</sub> /千円	0.260	0.252	0.248	○	0.247	0.239		
	kg-CO <sub>2</sub>	12,882	12,624	11,131		12,496	12,367		
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>				○				
	基準年度比		98%	86%		97%	96%		
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	143,231	139,063	138,084	○	136,327	132,288		
一般廃棄物の削減	kg	168	165	144	○	160	156		
	基準年度比		95%	86%		95%	93%		
廃棄プラの削減	kg	70,550	67,023	82,950	X	64,906	63,495		
	基準年度比		95%	118%		0.92	0.9		
水道水の削減	m <sup>3</sup>	505	490	431	○	465	455		
	基準年度比		97%	85%		92%	90%		
化学物質の抑制・削減活動	kg	1,200	300	0	○	180	0		
	基準年度比		25%	0%		15%	0%		
グリーン購入の推進	行動目標(次項による)								
環境に配慮した生産活動 環境に配慮した商品創	行動目標(次項による)								

## □環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	・2019.7月に工場内空調設備とLED照明へ設備更新する。 ・2020.7月決算売上高は前期比102.3%増加、CO2削減目標は未達ながら前期比97.3%と減少している。 消費電量性能が高い空調・LED照明設備へ更新した事による削減効果が大きく影響した。38期は節電への取組意識を全員で共有し行動によるCO2削減を目指す。
【工場】		
・工場内“見える化”による改善→作業状況の把握による効率化	○	
・空調温度の場内均一化・終業時・不要時の管理	△	
・朝一の稼働電源の時間差始動	△	
・空気圧縮機のエア洩れ点検	○	

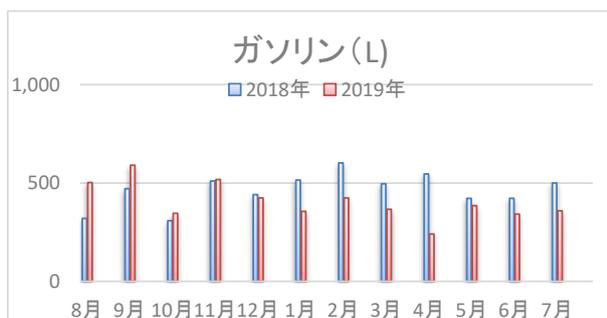


取組紹介欄 工場内空調機を最新型へ更新



	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2018年	38,968	37,054	28,126	23,617	20,545	19,351	19,259	19,044	17,650	17,650	20,780	27,922
2019年	33,828	35,998	30,734	24,822	16,996	18,489	19,138	17,995	15,838	15,592	25,375	27,311

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	・車両日報の継続と効率的営業活動を継続して実行する。 ・2019.11に社用車1台減により減少する。
・計画的な営業訪問により不要走行を抑制	○	
・車両月報作成により走行値を確認、削減	○	

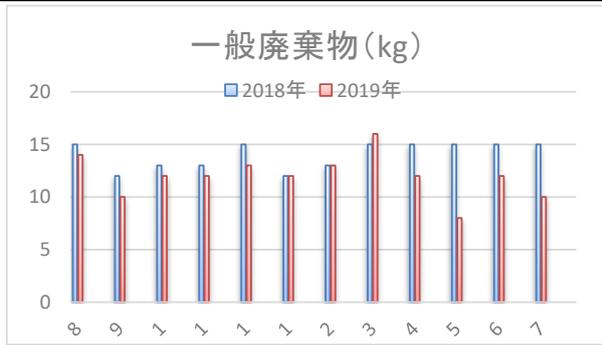


取組紹介欄 アイドリング自動制御の社用車の採用



	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2018年	320	471	308	510	441	515	602	496	546	422	422	500
2019年	502	590	346	518	424	356	424	366	240	385	342	359

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	・事務所を中心に食事後プラゴミの分別・洗浄による廃棄の徹底を継続する。
・コピー用紙のリサイクル利用。	○	
・分別による廃棄。	○	



取組紹介欄 食堂へのゴミ分別BOXの設置取組



	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2018年	15	12	13	13	15	12	13	15	15	15	15	15
2019年	14	10	12	12	13	12	13	16	12	8	12	10

廃棄プラの削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	・工場稼働前に製造ロス防止の為にセットする商品概要を打合せる。又、効率の人員配置を適時指示する事でロス削減に取り組む。 ・使用済原反を当社にて廃棄処分しておりは極力依頼主への返却を申し出る。 製造ミス・セットロスによる廃棄増加が主因。会社経営への影響は生産性向上の経営課題として重点的に改善に取組む。
【作業ミスによる廃棄量の徹底的な削減対	○	
・営業部、工場との情報共有・工程の事前打合せの徹底。		
・製造優先順位の効率的構成。	○	
営業：高城課長・土谷課長	○	
工場：伴ノ内工場長・平谷課長	○	



取組紹介欄 稼働打合せ



	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2018年	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	6,000
2019年	5,600	11,550	5,600	5,600	6,300	7,700	2,800	5,600	11,900	5,600	6,300	8,400

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	・ポスターによる節水喚起を継続する。 ・水冷エアコンの業者による点検を適時実施する事で使用量削減に努めている。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・水冷クーリングタワーの水漏れ定期的管	○	



取組紹介欄 給止ノズル取付による漏水防止取組



	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2018年	145	0	112	0	66	0	57	0	52	0	73	0
2019年	119	0	120	0	50	0	60	0	40	0	42	0

化学物質の抑制・削減活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	・ホットメルト装置へ変更する事でシンナー系溶剤の使用は無くなった事で化学物質に対する目標は今回迄と致します。
・溶剤用シンナー不使用のホットメルト製	○	
・騒音・振動・側溝排水・廃棄には地域環	○	

取組紹介欄

2019.11に八尾市商工会議所から  
環境改善優良事業所表彰を受賞



グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・購買担当者による環境配慮型商品の購入	○	・リサイクルコピー用紙の購入、使用済裏紙を継続して利用していく。
・環境配慮型製品の推奨	○	

取組紹介欄 食品ロス問題に提案した鮮度保持袋



環境に配慮した生産活動環境に配慮した商品	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・クールチョイスへの賛同	○	・ホットメルト装置へ変更する事でシンナー系溶剤の使用はなくなり工場内のシンナー臭も無く作業環境は大幅に改善された。今後は環境に配慮した材質での生産技術の確立を取り組んでいく。
・シンナーを全廃した工場施設にて製造効	○	
・環境に優しい材質の使用	○	
・異物混入防止・検品精度UPへの取組	○	

取組紹介欄

非溶剤系接着剤であるゴム系接着剤へ変更する事で  
工場内シンナー臭気の改善と環境対応商品作製に繋がった

【写真はポットメルト塗布装置で製造したパッケージ】



□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無  
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）
騒音規制法	空気圧縮機
振動規制法	空気圧縮機
消防法（危険物）	消火器・非常ベル・誘導灯の点検
フロン排出抑制法	業務用空調機・チラー・空気圧縮機用エアド라이어
八尾市条例	特定工場許可
顧客要求事項	工場見学

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。  
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

## □緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 地震の発生	
■実施日： 2019年11月8日	■実施場所 本社事務所・本社工場・第2工場
■参加者： 出勤者全員 33名	
■実施内容： <input type="checkbox"/> 通報訓練 <input type="checkbox"/> 消火訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練 地震を想定した避難訓練の実施	
■評価： B	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
日頃作業している工場内での訓練実施であり、避難場所、避難通路の確認ができた。 定期的を実施することで緊急時の行動を身につける様にしていきたい。 ※今回の訓練により常備灯の増設、構内スピーカーの修理がなされ改善された。	
■実施状況の様子	
	

## □代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2020年8月31日

EA21環境改善活動に取組み、2期目を迎えました。設備更新もCO2削減効率の高い機器へ順次切り替えていく事で従業員全員も今まで以上に改善意識を高めていると感じる場面も多くなっています。引き続き、営業部門・製造部門の現体制の中で各々が取組むべき目標を明確にして、改善へ取組む具体的方法を考え、目の前の問題解決へ一つ一つではありますが「組織」として持続できるように取組んでまいります。

<追記>

37期後半はコロナ禍による感染防止対策と働き改革の実施など労働環境の急激な変化により不安要素が重なりましたが、適切で具体的な対策を的確に実施することで防止出来ています。38期も精一杯、社員全員で環境経営へ挑みたいと思います。

環境経営方針	<input type="checkbox"/> 変更なし	■ 変更あり 化学物質抑制の取組を削除する。
環境経営目標・計画	■ 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり 実績を踏まえて見直す
実施体制	■ 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

## □これまでの地域貢献と環境活動の紹介

八尾市が主催する地域環境活動である『みせるばやお』の主旨である

- 1.子供たちがつとどい学べる場。
  - 2.八尾の企業が集まり新しい産業を生み出す。
  - 3.市と中小企業・市民が一体となり賑わいのあるまちづくりをめざす。
- へ賛同し、積極的に運営活動にも参加している。



【みせるばやお出店ブース】

## □編集後記

継続して取り組む事に意義があると思います。  
全員の力を結集し持続可能な組織体制を全員参加で考え、目の前の目標からひとつ、ひとつ実践したいと思います。  
(エコアクション事務局 竹村)